

PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Group
Art Unit: Unknown

Attorney
Docket No.: SHC0136

Applicant: Yoshitaka Mishima et al.

Invention: DISPOSABLE UNDERGARMENT

Serial No: Unknown

Filed: Herewith

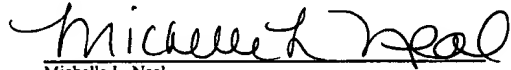
Examiner: Unknown

Certificate Under 37 C.F.R. 1.10

"EXPRESS MAIL" MAILING LABEL NUMBER
EL731284451US

DATE OF DEPOSIT August 10, 2001
I HEREBY CERTIFY THAT THIS PAPER OR FEE IS BEING
DEPOSITED WITH THE UNITED STATES POSTAL SER-
VICE "EXPRESS MAIL POST OFFICE TO ADDRESSEE"
SERVICE UNDER 37 C.F.R. 1.10 ON THE DATE
INDICATED ABOVE AND IS ADDRESSED TO THE ASSIS-
TANT COMMISSIONER FOR PATENTS WASHINGTON, DC
20231.

on August 10, 2001


Michelle L. Neal

CLAIM FOR PRIORITY

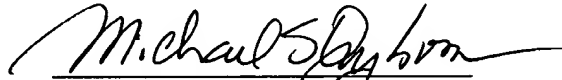
Box Patent Application
Assistant Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

Sir:

Applicants hereby claim the priority of Japanese Patent Application Serial No. 2000-244460 filed August 11, 2000, under the provisions of 35 U.S.C. §119.

A certified copy of the priority document is enclosed herewith.

Respectfully submitted,


Michael S. Gzybowski
Registration No.: 32,816
Attorney for Applicant

MSG/mln/193127

BAKER & DANIELS
111 EAST WAYNE STREET, SUITE 800
FORT WAYNE, IN 46802
TELEPHONE: 219-424-8000
FACSIMILE: 219-460-1700

9.0.01
#2/RECORDING
DOC

1c978 U.S. PTO
09/927835



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

1c978 U.S. PTO
09/927835



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 8月11日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-244460

出 願 人

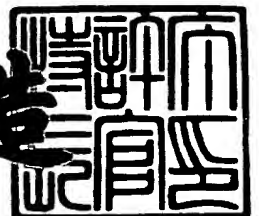
Applicant(s):

ユニ・チャーム株式会社

2001年 5月25日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3044430

【書類名】 特許願

【整理番号】 SL12P085

【提出日】 平成12年 8月11日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 A41B 13/15
A61F 13/00

【発明の名称】 使い捨て着用物品

【請求項の数】 2

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 三嶋 祥宜

【発明者】

【住所又は居所】 香川県三豊郡豊浜町和田浜高須賀 1 5 3 1 - 7 ユニ・
チャーム株式会社テクニカルセンター内

【氏名】 谷 康一郎

【特許出願人】

【識別番号】 000115108

【氏名又は名称】 ユニ・チャーム株式会社

【代表者】 高原 慶一郎

【代理人】

【識別番号】 100066267

【弁理士】

【氏名又は名称】 白浜 吉治

【電話番号】 03(3592)0171

【代理人】

【識別番号】 100108442

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 義孝

【電話番号】 03(3592)0171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006264

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9904036

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書
 【発明の名称】 使い捨て着用物品
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 縦方向へ延びる両側縁部と、横方向へ延びる両端縁部とを有し、前記縦方向に前胴周り域と、後胴周り域と、それら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前記前後胴周り域の少なくとも一方の両側縁部から横方向外方へ弾性伸縮性を有する一对の第 1 ウイングが延び、前記第 1 ウイングが、前記胴周り域の両側縁部に位置する第 1 基側縁部と、前記第 1 基側縁部から前記横方向外方へ離間する第 1 自由側縁部と、前記第 1 自由側縁部に前記前後胴周り域を連結する係合手段とを有し、前記第 1 基側縁部が前記股下域の両側縁部につながり、前記前後胴周り域の連結時に前記第 1 ウイングの伸長応力が胴周り方向と脚周り方向とへ作用する使い捨て着用物品において、

前記物品とは別体の弾性伸縮性を有する一对の第 2 ウイングが、前記第 1 ウイングに重なって前記胴周り域の両側縁部から横方向外方へ延び、前記胴周り域の両側縁部に固着された第 2 基側縁部と、前記第 2 基側縁部から横方向外方へ離間して前記第 1 自由側縁部に固着された第 2 自由側縁部とを有し、前記第 2 基側縁部が前記股下域の両側縁部に繋がらず、前記前後胴周り域の連結時に前記第 2 ウイングの伸長応力が前記胴周り方向へ作用することを特徴とする前記物品。

【請求項 2】 前記第 1 ウイングの第 1 基側縁部から第 1 自由側縁部までの横方向の寸法と前記第 2 ウイングの第 2 基側縁部から第 2 自由側縁部までの横方向の寸法とが、第 1 ウイング \equiv 第 2 ウイングの関係、または、第 1 ウイング $>$ 第 2 ウイングの関係にあり、前記第 1 ウイングと前記第 2 ウイングとを前記横方向外方へ同一長さまで伸長したときのそれらウイングの前記伸長応力が、第 1 ウイング $<$ 第 2 ウイングの関係にある請求項 1 記載の物品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、使い捨ておむつやおむつカバー等の使い捨て着用物品に関する。

【0002】

【従来の技術】

特開平 1 0 - 3 2 8 2 3 7 号公報は、縦方向に前後胴周り域と、それら胴周り域の間に位置する股下域とを有し、伸縮性のシート素材からなる一対のウイングが後胴周り域の両側縁部から横方向外方へ延び、ウイングの横方向へ延びる端部各々にウイングよりも高い伸長応力を有する伸縮性素材が配置された使い捨て着用物品を開示している。この物品は、透液性表面シートと、不透液性裏面シートと、それらシートの上に介在する吸液性コアとから形成され、ウイングの自由側縁部に前後胴周り域を連結するテープファスナが取り付けられている。この物品を着用するときは、ウイングを胴周り方向へ伸長しつつ、前胴周り域に取り付けられたターゲットテープにテープファスナを係合させて前後胴周り域を連結する。この物品では、胴周り方向へ伸長するウイングにより、股下域における物品の両側縁部が脚周り方向へ引っ張られるので、着用者の脚周りを前記両側縁部によって強く締め付けることができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

使い捨ておむつやおむつカバー等の着用物品では、着用者の脚周り寸法にもよるが、股下域における物品の両側縁部による着用者の脚周りの締め付けを弱くしたい場合がある。同号公報に開示の物品において、着用者の脚周りの締め付けを弱くするには、ウイングを胴周り方向へあまり伸長させずに前後胴周り域を連結すればよいが、着用者の胴周りに対する締め付けも弱くなり、物品が着用位置からずれ易くなってしまふ。

【0004】

本発明の課題は、着用位置からずれることがないように、着用者の胴周りを確実に締め付けることができるとともに、着用者の脚周りを強く締め付けることがない使い捨て着用物品を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するための本発明の前提は、縦方向へ延びる両側縁部と、横方向へ延びる両端縁部とを有し、前記縦方向に前胴周り域と、後胴周り域と、それ

ら胴周り域の間に位置する股下域とを備え、前記前後胴周り域の少なくとも一方の両側縁部から横方向外方へ弾性伸縮性を有する一对の第 1 ウイングが延び、前記第 1 ウイングが、前記胴周り域の両側縁部に位置する第 1 基側縁部と、前記第 1 基側縁部から前記横方向外方へ離間する第 1 自由側縁部と、前記第 1 自由側縁部に前記前後胴周り域を連結する係合手段とを有し、前記第 1 基側縁部が前記股下域の両側縁部につながり、前記前後胴周り域の連結時に前記第 1 ウイングの伸長応力が胴周り方向と脚周り方向とへ作用する使い捨て着用物品である。

【 0 0 0 6 】

かかる前提において本発明の特徴は、前記物品とは別体の弾性伸縮性を有する一对の第 2 ウイングが、前記第 1 ウイングに重なって前記胴周り域の両側縁部から横方向外方へ延び、前記胴周り域の両側縁部に固着された第 2 基側縁部と、前記第 2 基側縁部から横方向外方へ離間して前記第 1 自由側縁部に固着された第 2 自由側縁部とを有し、前記第 2 基側縁部が前記股下域の両側縁部につながらず、前記前後胴周り域の連結時に前記第 2 ウイングの伸長応力が前記胴周り方向へ作用することにある。

【 0 0 0 7 】

本発明の実施の態様の一例としては、前記第 1 ウイングの第 1 基側縁部から第 1 自由側縁部までの横方向の寸法と前記第 2 ウイングの第 2 基側縁部から第 2 自由側縁部までの横方向の寸法とが、第 1 ウイング＝第 2 ウイングの関係、または、第 1 ウイング＞第 2 ウイングの関係にあり、前記第 1 ウイングと前記第 2 ウイングとを前記横方向外方へ同一長さまで伸長したときのそれらウイングの前記伸長応力が、第 1 ウイング＜第 2 ウイングの関係にある。

【 0 0 0 8 】

【発明の実施の形態】

添付の図面を参照し、本発明にかかる使い捨て着用物品の詳細を使い捨ておむつを例として説明すると、以下のとおりである。

【 0 0 0 9 】

図 1、2 は、使い捨ておむつ 1 の部分破断斜視図と、図 1 の A - A 線切断面図とであり、図 3 は、図 1 の B - B 線切断面図である。図 1 では、縦方向を矢印 X

で示し、横方向を矢印Yで示す。なお、表裏面シート2、3や第1および第2ウイング8、9、防漏シート7、テープファスナ等の各部材における内面とは、コア4に対向する面をいい、外面とは、コア4に非対向の面をいう。

【0010】

おむつ1は、透液性表面シート2と、不透液性裏面シート3と、表面シート2と裏面シート3との間に介在し、全体が透水性のティッシュペーパー（図示せず）に被覆、接合された吸液性コア4とを主要な構成部材とする。コア4は、ティッシュペーパーを介して表面シート2と裏面シート3との少なくとも一方の内面に接合されている。

【0011】

おむつ1は、縦方向に前胴周り域20と、後胴周り域22と、前後胴周り域20、22の間に位置する股下域21とを備え、互いに対向して縦方向へ延びる両側縁部5a、5b、5cと、互いに対向して横方向へ延びる両端縁部6a、6bとを有する。

【0012】

おむつ1には、コア4の両側縁4aの外側を縦方向へ延びる一对の防漏シート7が取り付けられている。後胴周り域22におけるおむつ1の両側縁部5cには、横方向外方へ延びる第1ウイング8と第2ウイング9とが取り付けられている。おむつ1では、前胴周り域20におけるおむつ1の両側縁部5aが股下域21におけるおむつ1のそれよりも横方向外方へ延びており、その平面形状が砂時計型を呈する。

【0013】

第1ウイング8は、弾性伸縮性を有するシートから形成された略矩形のものである。第1ウイング8は、両側縁部5cに位置して縦方向へ延びる第1基側縁部8aと、基側縁部8aから横方向外方へ離間して縦方向へ延びる第1自由側縁部8cと、基側縁部8aと自由側縁部8cとの間に位置する中間部8bとを有する。基側縁部8aは、股下域21におけるおむつ1の両側縁部5bにつながっている。

【0014】

第2ウイング9は、弾性伸縮性を有するシートから形成された略矩形のもので、第1ウイング8の内面の側に位置して第1ウイング8に重なっている。第2ウイング9は、両側縁部5cに位置して縦方向へ延びる第2基側縁部9aと、基側縁部9aから横方向外方へ離間して縦方向へ延びる第2自由側縁部9cと、基側縁部9aと自由側縁部9cとの間に位置する中間部9bとを有する。基側縁部9aは、第1ウイング8のそれとは異なり、両側縁部5bにつながっていない。

【0015】

第1ウイング8と第2ウイング9とでは、それらウイング8、9の自由側縁部8a、9aが互いに固着されている。第1ウイング8と第2ウイング9とは、それらウイング8、9の基側縁部8a、9aの縁から自由側縁部8c、9cの縁までの横方向の寸法L1、L2が同一である。第1ウイング8と第2ウイング9とは、それらウイング8、9の基側縁部8a、9aから自由側縁部8c、9cまでの横方向の寸法が第1ウイング8≒第2ウイング9の関係にあればよい。

【0016】

第1ウイング8と第2ウイング9との自由側縁部8c、9cには、テープファスナ10が取り付けられている。テープファスナ10は、基端部10aと、基端部10aから横方向外方へ延びる自由端部10bとを有し、自由端部10bの内面にメカニカルファスナのうちのフック部材11が取り付けられている。

【0017】

防漏シート7は、表面シート2に固着された固定縁部7aと、固定縁部7aに並行する自由縁部7bと、おむつ1の横方向内方へ倒伏された状態で表面シート2に固着された両端部7cとを有する。防漏シート7では、固定縁部7aから横方向外方へ外側部分7dが延びている。自由縁部7bには、縦方向へ延びる弾性伸縮性部材14が伸長状態で固着されている。弾性部材14は、自由縁部7bの一部に被覆されている。

【0018】

両側縁部5bには、縦方向へ延びる複数条の脚周り用弾性伸縮性部材12が伸長状態で取り付けられている。脚周り用弾性部材12は、表面シート2と裏面シート3との間に介在し、それらシート2、3の少なくとも一方の内面に固着され

ている。

【 0 0 1 9 】

端縁部 6 b には、横方向へ延びる複数条の胴周り用弾性伸縮性部材 1 3 が伸長状態で取り付けられている。胴周り用弾性部材 1 3 は、表面シート 2 と裏面シートとの間に介在し、それらシート 2, 3 の少なくとも一方の内面に固着されている。

【 0 0 2 0 】

両側縁部 5 c では、表裏面シート 2, 3 の両側部分 2 a, 3 a と防漏シート 7 の外側部分 7 d とがコア 4 の両側縁 4 a から横方向外方へ延び、第 1 ウイング 8 の基側縁部 8 a が裏面シート 3 の両側部分 3 a の外面に固着されている。第 2 ウイング 9 の基側縁部 9 a は、表面シート 2 の両側部分 2 a と防漏シート 7 の外側部分 7 d との間に介在し、それらシート 2, 7 に固着されている。テープファスナ 1 0 は、その基端部 1 0 a が第 1 ウイング 8 と第 2 ウイング 8 との自由側縁部 8 c, 9 c の間に介在し、それらウイング 8, 9 の内面に固着されている。

【 0 0 2 1 】

両側縁部 5 a, 5 b では、表面シート 2 の両側部分 2 a が裏面シート 3 の両側部分 3 a と防漏シート 7 の外側部分 7 d との間に介在し、それら部分 3 a, 7 d に固着されている。

【 0 0 2 2 】

図 1 では、弾性部材 1 2, 1 3, 1 4 各々が収縮し、おむつ 1 の両側縁部 5 b および端縁部 6 b と防漏シート 7 の自由縁部 7 b とに多数のギャザーが形成されている。おむつ 1 は、表面シート 2 を内側にして縦方向へ湾曲し、弾性部材 1 4 が収縮して防漏シート 7 の自由縁部 7 b が図 1 の上方へ起立している。

【 0 0 2 3 】

図 4 は、前胴周り域 2 0 と後胴周り域 2 2 とを連結した状態で示すおむつ 1 の斜視図であり、胴周り方向を矢印 Z 1 で示し、脚周り方向を矢印 Z 2 で示す。おむつ 1 では、第 1 ウイング 8 と第 2 ウイング 9 とを胴周り方向へ伸長し、それらウイング 8, 9 を両側縁部 5 a に重ね合わせ、テープファスナ 1 0 のフック部材 1 1 を前胴周り域 2 0 における裏面シート 3 の外面に取り付けられたループ部材

15に係合させる。前後胴周り域20、22が連結されたおむつ1には、胴周り開口16と、一对の脚周り開口17とが画成されている。

【0024】

おむつ1では、第1ウイング8を胴周り方向へ伸長させると、第1ウイング8によって端縁部6bが胴周り方向へ引っ張られるとともに、第1ウイング8の基側縁部8aが両側縁部5bにつながっているため、両側縁部5bが脚周り方向へ引っ張られる。おむつ1では、第1ウイング8の伸長応力が胴周り方向と脚周り方向とへ作用する。

【0025】

おむつ1では、第2ウイング9を胴周り方向へ伸長させると、第2ウイング8によって端縁部6bが胴周り方向へ引っ張られるが、第2ウイング9の基側縁部9aが両側縁部5bにつながっていないため、両側縁部5bが脚周り方向へ引っ張られることはない。おむつ1では、第2ウイング9の伸長応力が胴周り方向へのみ作用する。

【0026】

おむつ1では、第1ウイング8と第2ウイング9との伸長応力が胴周り方向へ作用するので、第1ウイング8と第2ウイング9と端縁部6bとによって着用者の胴周りを確実に締め付けることができる。おむつ1では、第2ウイング9の伸長応力が脚周り方向へ作用しないため、第2ウイング9のそれが脚周り方向へ作用する場合と比較し、両側縁部5bによる着用者の脚周りの締め付けを弱くすることができる。

【0027】

おむつ1では、第1ウイング8と第2ウイング9とを横方向外方へ同一長さまで伸長したときのそれらウイング8、9の伸長応力が第1ウイング8<第2ウイング9の関係にあってもよい。第2ウイング9の伸長応力を第1ウイング8のそれよりも強くした場合では、着用者の胴周りを第2ウイング9によって一層強く締め付けることができる。

【0028】

図5、6は、他の実施の形態を示す使い捨ておむつ1の部分破断斜視図と、図

5のC-C線切断面図とであり、図7は、図5のD-D線切断面図である。図5では、縦方向を矢印Xで示し、横方向を矢印Yで示す。おむつ1の基本的な構成は、図1のそれと同一であるので、その説明は省略する。図5に示すおむつ1が図1のそれと異なる点は、以下のとおりである。

【0029】

このおむつ1では、第1ウイング8の基側縁部8aの縁から自由側縁部8cの縁までの横方向の寸法L1と第2ウイング9の基側縁部9aの縁から自由側縁部9cの縁までの横方向の寸法L2とが、第1ウイング8>第2ウイング9の関係にあり、第1ウイング8と第2ウイング9との単位面積当たりの伸長応力が、第1ウイング8≒第2ウイング9の関係にある。

【0030】

図8は、前胴周り域20と後胴周り域22とを連結した状態で示すおむつ1の斜視図であり、胴周り方向を矢印Z1で示し、脚周り方向を矢印Z2で示す。おむつ1では、図4のそれと同様に、第1ウイング8の伸長応力が胴周り方向と脚周り方向とへ作用し、第2ウイング9の伸長応力が胴周り方向へ作用する。

【0031】

おむつ1では、第1ウイング8と第2ウイング9との単位面積当たりの伸長応力が略同一であるが、第2ウイング9の寸法L2が第1ウイング8のそれよりも小さいので、それらウイング8、9を横方向外方へ同一長さまで伸長させたときに、第2ウイング8の伸長応力が実質的に第1ウイング9のそれよりも強くなる。おむつ1では、第1ウイング8と第2ウイング9とを胴周り方向へ伸長させて前後胴周り域20、22を連結したときに、第2ウイング9と端縁部6bとによって着用者の胴周りを確実に締め付けることができる。

【0032】

図7のおむつ1では、第1ウイング8の基側縁部8aから自由側縁部8cまでの横方向の寸法と第2ウイング9の基側縁部9aから自由側縁部9cまでの横方向の寸法とが、第1ウイング8>第2ウイング9の関係にあればよく、第1ウイング8と第2ウイング9との単位面積当たりの伸長応力が、第1ウイング8<第2ウイング9の関係にあってもよい。

【 0 0 3 3 】

それら図示例のおむつ 1 では、第 1 ウイング 8 と第 2 ウイング 9 とが前胴周リ域 2 0 におけるおむつ 1 の両側縁部 5 a に取り付けられていてもよい。また、おむつ 1 では、第 1 ウイング 8 が裏面シート 3 から形成されていてもよい。裏面シート 3 が第 1 ウイング 8 を形成する場合には、裏面シート 3 に弾性伸縮性を有する疎水性の不織布と弾性伸縮性を有するプラスチックフィルムとのラミネートシートシートを使用することが好ましく、裏面シート 3 を縦方向と横方向とへ伸長させた状態で、表面シート 2 と裏面シート 3 との重なり合う部分を間欠的に固着する。

【 0 0 3 4 】

表面シート 2 には、不織布や開孔プラスチックフィルム等の透液性のシート、好ましくは透液性であって親水性のシートを使用することができる。裏面シート 3 には、疎水性不織布や不透液性のプラスチックフィルム、または、疎水性不織布とプラスチックフィルムとのラミネートシート、好ましくは通気不透液性のシートを使用することができる。

【 0 0 3 5 】

第 1 ウイング 8 と第 2 ウイング 9 とには、弾性伸縮性を有する不織布や弾性伸縮性を有するプラスチックフィルム、または、弾性伸縮性の不織布と弾性伸縮性のプラスチックフィルムとのラミネートシートを使用することができる。防漏シート 7 には、疎水性の不織布を使用することができる。

【 0 0 3 6 】

不織布としては、спанレース、ニードルパンチ、メルトブローン、サーマルボンド、спанボンド、ケミカルボンド、エアースルー等により製造された不織布を使用することができる。不織布の構成繊維としては、ポリオレフィン系、ポリエステル系、ポリアミド系の各繊維、ポリエチレン／ポリプロピレンやポリエチレン／ポリエステル等で形成された芯鞘型複合繊維、サイドバイサイド型複合繊維を使用することができる。

【 0 0 3 7 】

コア 4 は、フラッフパルプと高吸収性ポリマー粒子と熱可塑性合成樹脂繊維と

の混合物であり、所要の厚みに圧縮されている。高吸収性ポリマーとしては、デンプン系、セルロース系、合成ポリマー系のものを使用することができる。

【 0 0 3 8 】

表裏面シート 2, 3 の固着や第 1 および第 2 ウイング 8, 9 の固着、防漏シート 7 の固着、コア 4 の接合、弾性部材 1 2, 1 3, 1 4 の固着には、ホットメルト系の接着剤、または、熱溶着手段を利用することもできる。

【 0 0 3 9 】

この発明は、使い捨ておむつの他に、おむつカバーでも実施することができる。

【 0 0 4 0 】

【発明の効果】

本発明にかかる使い捨て着用物品によれば、第 1 ウイングと第 2 ウイングとを胴周り方向へ伸長させて前後胴周り域を連結したときに、第 1 ウイングの伸長応力が胴周り方向と脚周り方向とへ作用し、第 2 ウイングの伸長応力が胴周り方向へのみ作用するので、股下域における物品の両側縁部による着用者の脚周りの締め付けを弱くしつつ、着用者の胴周りを確実に締め付けることができ、物品が着用位置からずれてしまうことを防ぐことができる。

【 0 0 4 1 】

第 2 ウイングの伸長応力が第 1 ウイングのそれよりも強い物品では、着用者の胴周りを第 2 ウイングによって一層強く締め付けることができるので、物品の位置ずれ防止を向上させることができる。

【 0 0 4 2 】

また、第 2 ウイングの基側縁部から自由側縁部までの横方向の寸法が前記第 1 ウイングのそれよりも短く、第 1 ウイングと第 2 ウイングとの単位面積当たりの伸長応力が略同一の物品では、第 1 および第 2 ウイングを横方向外方へ同一長さまで伸長させたときに、第 2 ウイングの伸長応力が実質的に第 1 ウイングのそれよりも強くなるので、この物品においても、着用者の胴周りを第 2 ウイングによって一層強く締め付けることができ、物品の位置ずれ防止を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

使い捨ておむつの部分破断斜視図。

【図 2】

図 1 の A - A 線切断面図。

【図 3】

図 1 の B - B 線切断面図。

【図 4】

前胴周り域と後胴周り域とを連結した状態で示す図 1 のおむつの斜視図。

【図 5】

他の実施の形態を示す使い捨ておむつの部分破断斜視図。

【図 6】

図 5 の C - C 線切断面図。

【図 7】

図 5 の D - D 線切断面図。

【図 8】

前胴周り域と後胴周り域とを連結した状態で示す図 5 のおむつの斜視図。

【符号の説明】

1	使い捨ておむつ（使い捨て着用物品）
5 a, 5 b, 5 c	両側縁部
6 a, 6 b	両端縁部
8	第 1 ウイング
8 a	第 1 基側縁部
8 c	第 1 自由側縁部
9	第 2 ウイング
9 a	第 2 基側縁部
9 c	第 2 自由側縁部
2 0	前胴周り域
2 1	股下域

2 2

後胴周り域

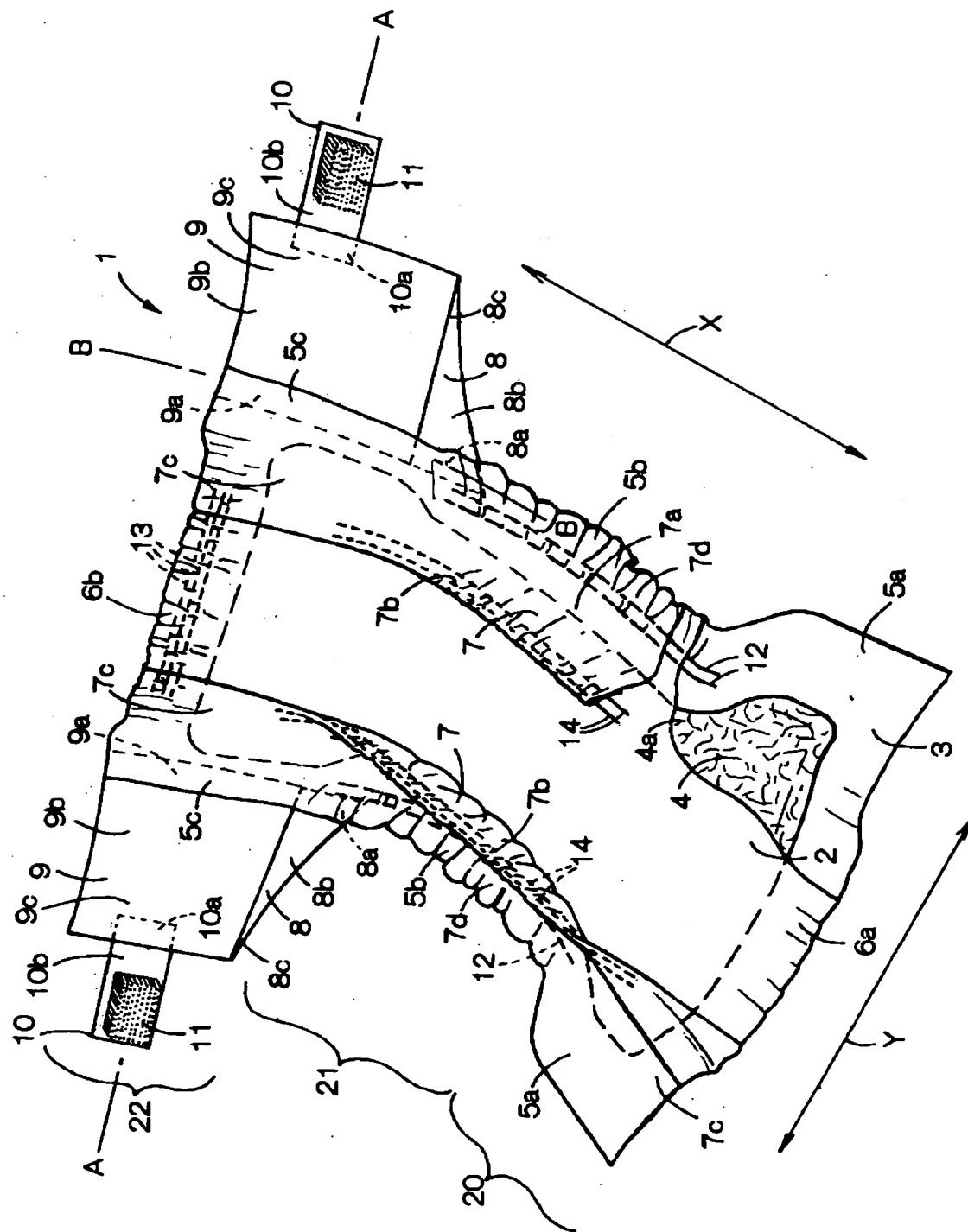
L 1 , L 2

寸法

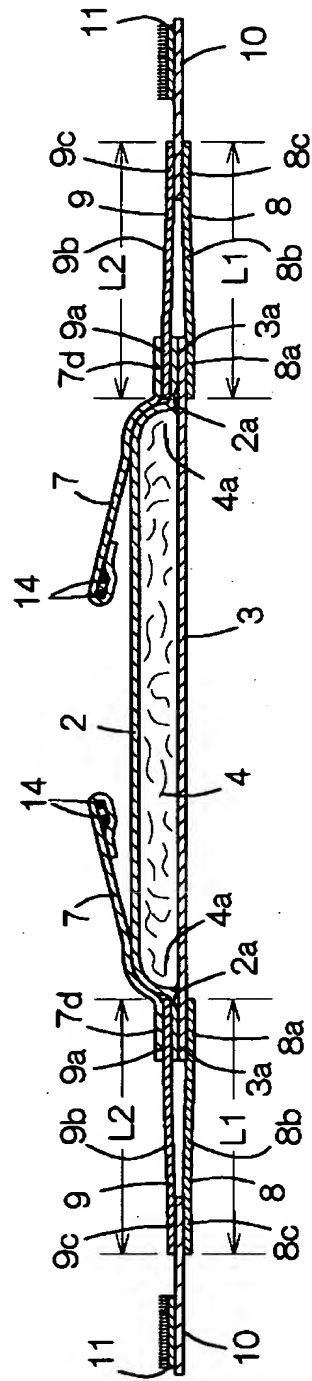
【書類名】

図面

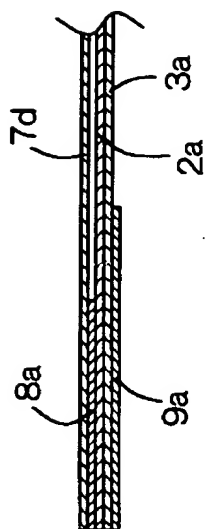
【図 1】



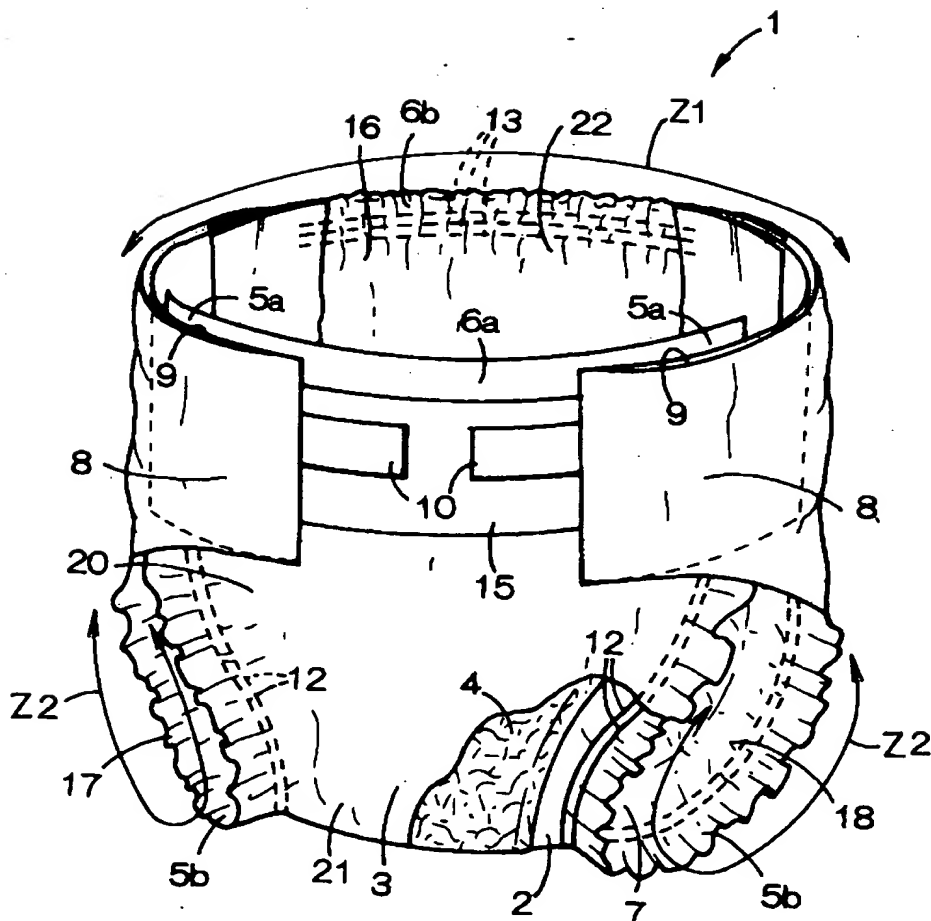
【図 2】



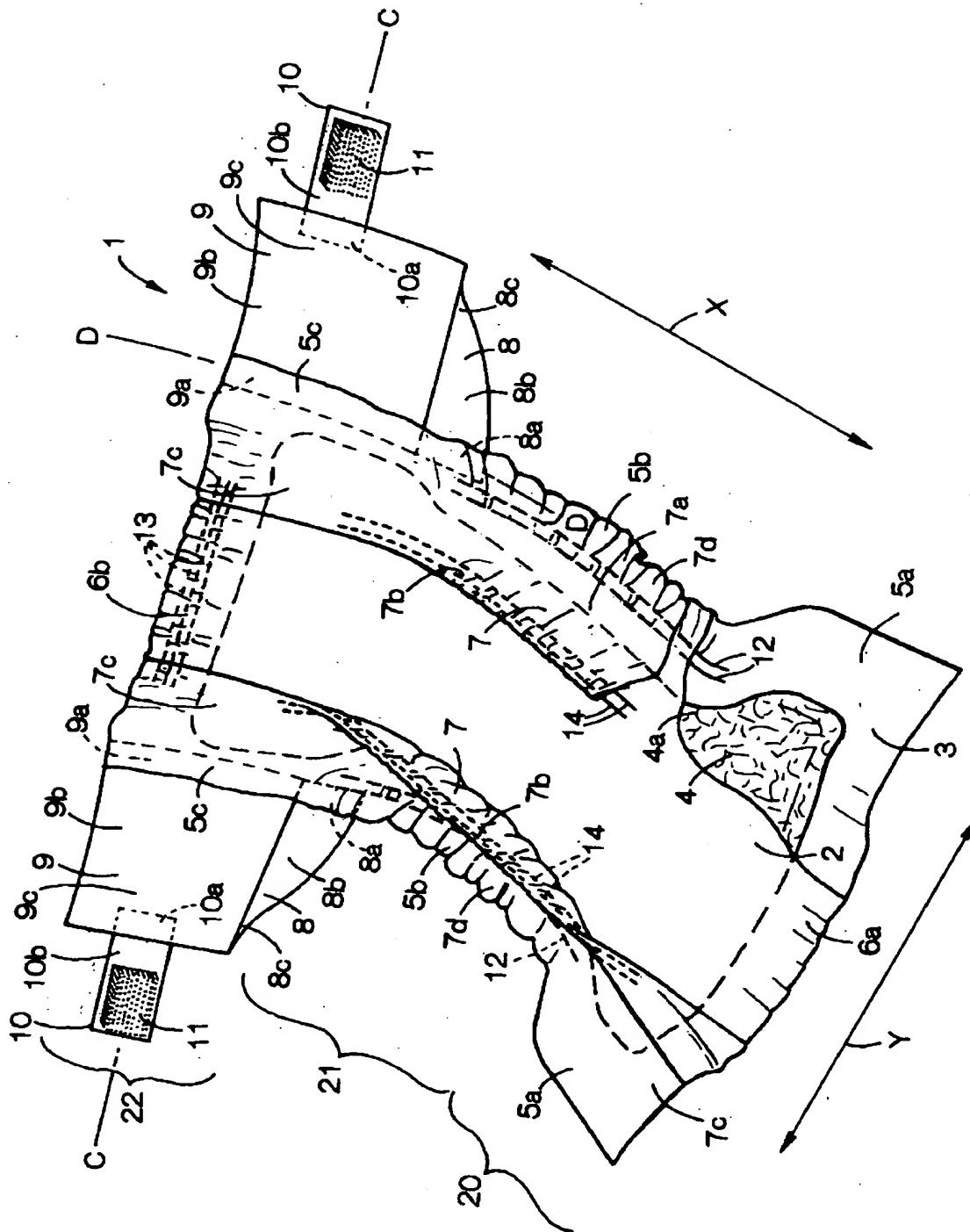
【図 3】



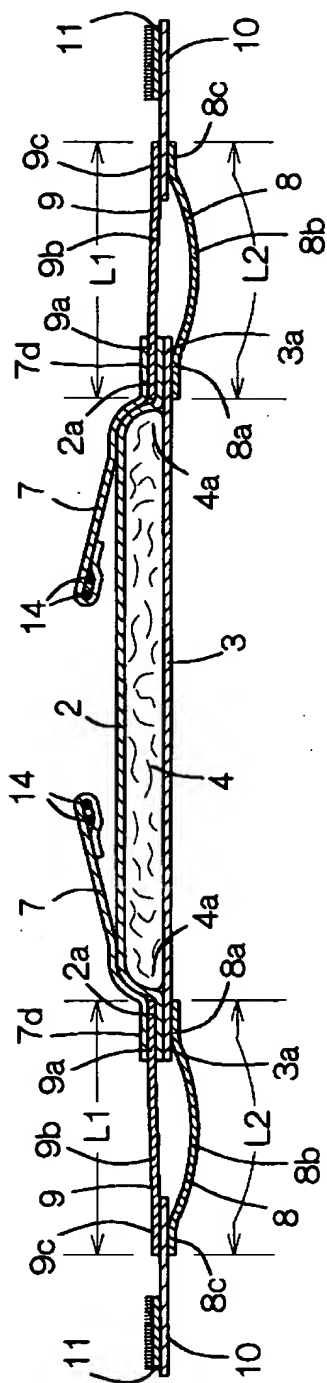
【図 4】



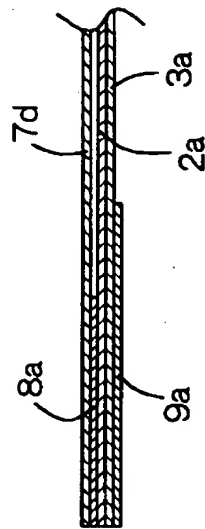
【図 5】



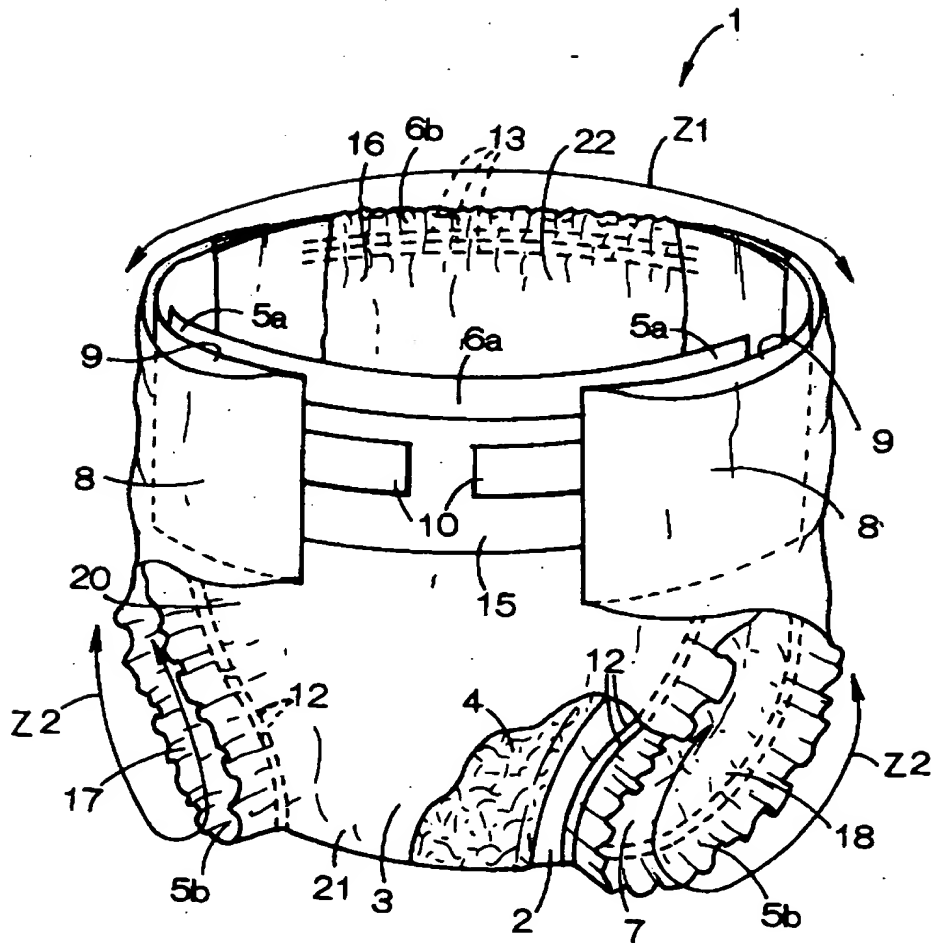
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 着用者の胴周りを確実に締め付けることができるとともに、着用者の脚周りを強く締め付けることがない使い捨て着用物品を提供する。

【解決手段】 後胴周り域 2 2 の両側縁部 5 c から横方向外方へ弾性伸縮性を有する一对の第 1 ウイング 8 が延び、第 1 ウイング 8 の基側縁部 8 a が股下域 2 1 の両側縁部 5 b につながり、第 1 ウイング 8 に重なって後胴周り域 2 2 の両側縁部 5 c から横方向外方へ弾性伸縮性を有する一对の第 2 ウイング 9 が延び、第 2 ウイング 9 の基側縁部 9 a が股下域 2 1 の両側縁部 5 b につながらず、前後胴周り域 2 0, 2 2 の連結時に、第 1 ウイング 8 の伸長応力が胴周り方向と脚周り方向とへ作用するとともに、第 2 ウイング 9 の伸長応力が胴周り方向へ作用する使い捨て着用物品。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-244460
受付番号	50001030625
書類名	特許願
担当官	唐木 敏朗 7396
作成日	平成12年 8月18日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000115108
【住所又は居所】	愛媛県川之江市金生町下分182番地
【氏名又は名称】	ユニ・チャーム株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100066267
【住所又は居所】	東京都港区新橋3丁目1番10号 石井ビル 白 浜国際特許事務所
【氏名又は名称】	白浜 吉治

【代理人】

【識別番号】	100108442
【住所又は居所】	東京都港区新橋3丁目1番10号 (石井ビル5 階) 白浜国際特許事務所
【氏名又は名称】	小林 義孝

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000115108]

1. 変更年月日 1990年 8月24日
[変更理由] 新規登録
住 所 愛媛県川之江市金生町下分182番地
氏 名 ユニ・チャーム株式会社